

## 5. 9 土木と学校教育会議

### 1) はじめに

「土木と学校教育会議」検討小委員会は、新しい教育基本法の考え方を十分に踏まえつつ、初等中等教育における児童・生徒のシティズン・シップ教育等を含めた実践的な社会・理科・国語・算数教育，ならびに総合学習等に資することを企図し、道や川、まちといった様々な社会基盤・公共財を題材とした初等中等教育のあり方を考え、そしてそれを具体的に実践していくことを目的とするものである。そして、その目的の下、「全国」の土木と学校教育の双方の専門家と実践者が集まり、種々の研究発表、事例紹介を行う場として「土木と学校教育会議」を設置し、それを定期的に関催・運営していくことを主たる活動とするものである。

当小委員会は、これらの目的と活動方針をもって平成19年度末から活動してきた。平成21年度と平成22年度の活動内容を次に記す。

### 2) 平成21年度活動

#### (1) 第1回土木と学校教育フォーラム開催と成果報告書の発行

平成20年度に作成した実施計画に基づき、第1回土木と学校教育フォーラムを開催した。その概要は表5.10.1のとおりである。

また、当フォーラムの成果報告書を取りまとめた。成果報告書の巻末には、DVD-Rには、模擬授業の様相（動画ファイル）や、各発表で用いられた文書ファイル（PDFファイル）、ならびに成果報告書（PDFファイル、カラー版）を格納したDVD-Rを添付した。

表5.10.1 「第1回土木と学校教育フォーラム」の概要

●実施日時	：2009年8月7日（金） 9：30～17：30
●主催	：社団法人土木学会 教育企画・人材育成委員会 「土木と学校教育会議」検討小委員会 （委員長：京都大学大学院 藤井聡）
●協賛	：交通エコロジー・モビリティ財団、財団法人全国建設研修センター
●後援	：国土交通省、日本社会科教育学会、新宿区教育委員会、 社団法人日本土木工業協会
●会場	：土木学会（講堂、A,B,C,D会議室）
●参加費	：無料
●主な内容	： ○模擬授業ワークショップ ・テーマ1：フード・マイレージ ・テーマ2：「防災ゲーム」を活用した防災学習の実践 ・テーマ3：理科教育・出前授業 ○口頭発表セッション（発表：8編） ○ポスターセッション（発表：11編） ○パネルディスカッション 「土木を題材とした授業づくりを推進するための課題」
●参加者数	：87名

#### (2) 小委員会WEBのと公開

当小委員会のWEBページについて、第1回土木と学校教育フォーラムの成果を中心に掲載し、情報を更新した。

#### (3) 第2回土木と学校教育フォーラム実施計画の作成

第1回土木と学校教育フォーラムを開催した経験と課題を踏まえ、平成22年度に開催する第2回土木と学校教育フォーラムの実施計画を作成した。

#### (4) 「土木と学校教育」メーリングリストの作成

第1回土木と学校教育フォーラムの参加者を中心としてメーリングリストを作成した。平成21年度末時点でのメーリングリストメンバー数は106名となった。

#### (5) 土木をテーマとした学習プログラムの開発

新宿区立戸塚第二小学校教員・齋藤幸之介氏と協働して土木を題材とした社会科学学習プログラム(第3学年社会科「地域の自慢、神田川」)を開発した。開発した学習プログラムは、平成21年度第3学期に実践された。その成果は、第2回フォーラムにて模擬授業ワークショップの1つのプログラムとして発表されている。

### 3) 平成22年度活動

#### (1) 第2回土木と学校教育フォーラム開催と成果報告書の発行

平成21年度に作成した実施計画に基づき、第2回土木と学校教育フォーラムを開催した。その概要は表5.10.2のとおりである。

また、第1回と同様にDVD-R付きの成果報告書を取りまとめた。

表5.10.2 「第2回土木と学校教育フォーラム」の概要

●実施日時	: 2010年8月6日(金) 9:15~17:30
●主催	: 社団法人土木学会 教育企画・人材育成委員会 「土木と学校教育会議」検討小委員会 (委員長: 京都大学大学院 藤井聡)
●共催	: 交通エコロジー・モビリティ財団
●協賛	: (財)計量計画研究所、(財)建設業振興基金、 (財)国土技術研究センター、(財)全国建設研修センター
●後援	: 国土交通省、日本社会科教育学会、新宿区教育委員会、 社団法人日本土木工業協会
●会場	: 土木学会(講堂、A,B,C,D会議室)
●主な内容	: ○模擬授業ワークショップ1 ・テーマ1-1:「小学校6年理科における自然災害に関する出前授業実践例」 ・テーマ1-2:「自然災害の防止」第5学年の実践より ○実践・研究報告 ・報告1:社会的ジレンマ教材を通して社会的価値判断を育成する社会科学習 ー水害から生活を守るために雨水貯水タンクを購入するか否かを問うー ・報告2:シティズンシップ教育とまちづくり ・報告3:子どもが楽しめる社会資本学習の方法 ー体と地図を使う学習法ー ○実践・研究報告(ポスター形式)(発表:15編) ○模擬授業ワークショップ2 ・テーマ2-1:地域に流れる河川を防災の観点から教材化するためにーハザードマップの活用を中心にー ・テーマ2-2:モビリティ・マネジメント教育 ○パネルディスカッション 「土木と学校教育」
●参加者数	: 106名

#### (2) 小委員会WEBのと公開

当小委員会のWEBページについて、第2回土木と学校教育フォーラムの成果を中心に掲載し、情報を更新した。

#### (3) 第3回土木と学校教育フォーラム実施計画の作成

第2回土木と学校教育フォーラムを開催した経験と課題を踏まえ、平成23年度に開催する第3回土木と学校教育フォーラムの実施計画を作成した。

#### **(4)「土木と学校教育」メーリングリストの拡充**

第2回土木と学校教育フォーラムの参加者を中心にメーリングリストを拡充した。平成21年度末時点でのメーリングリストメンバー数は156名となった。

#### **(5) 土木をテーマとした学習プログラムの開発**

新宿区立西戸山小学校教員・長澤慎哉氏と協働して土木を題材とした社会科学習プログラム（第5学年社会科「（仮称）日本の大気汚染—身近な交通との関係から」）を開発した。開発した学習プログラムは、平成22年度第3学期に実践された。その成果は、第3回フォーラムにて発表予定となっている。